

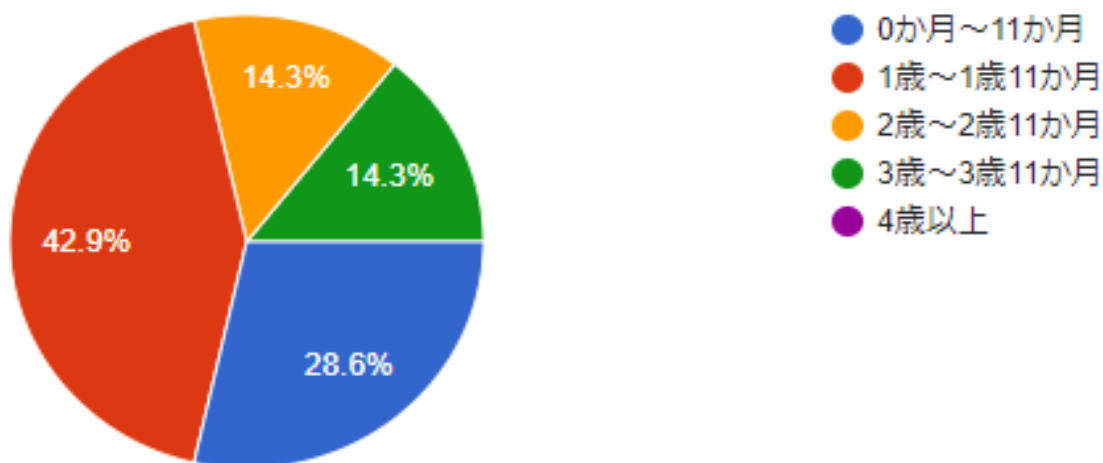
多胎育児家庭のアンケート結果

アンケートへのご協力、有難うございました。

結果のご報告をいたします。

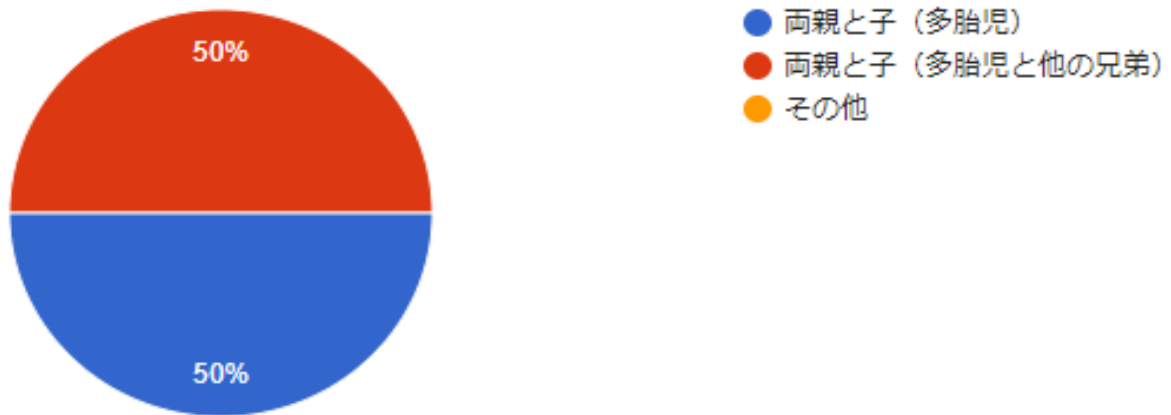
アンケートの目的	新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴う社会情勢下における多胎家庭の実態調査
調査機関	2020/4/21～4/30
実施対象	あいち多胎ネットメール会員36世帯
調査方法	インターネットを利用したアンケート調査 (回答者が多胎育児家庭であることを認証済み)
調査結果	14世帯より回答が得られた。回答率約38%

1 子どもの年齢（多胎児）



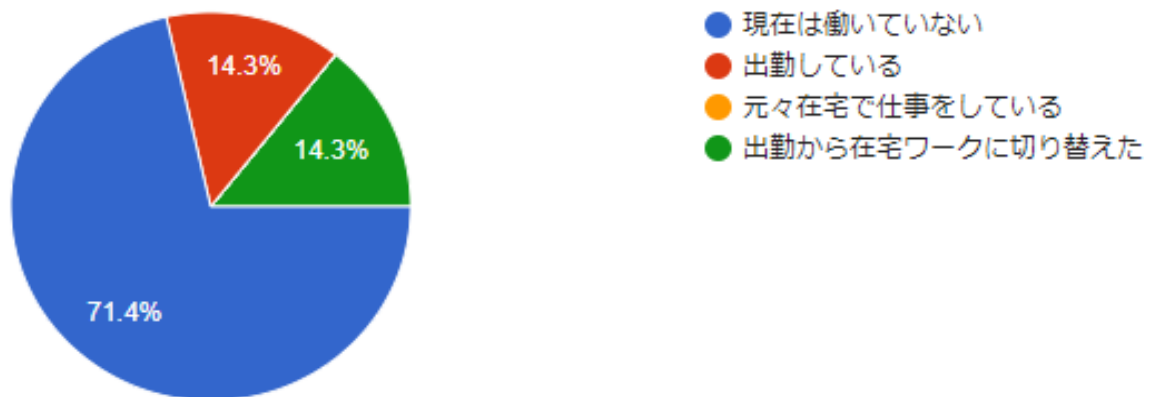
今回のアンケート調査において回答をいただいたご家庭においては、2歳以下の小さなふたごちゃん、三つ子ちゃん家庭が約7割を占めているという結果が得られました。

2 家族構成



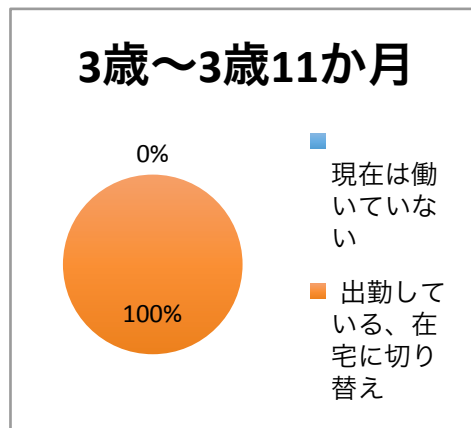
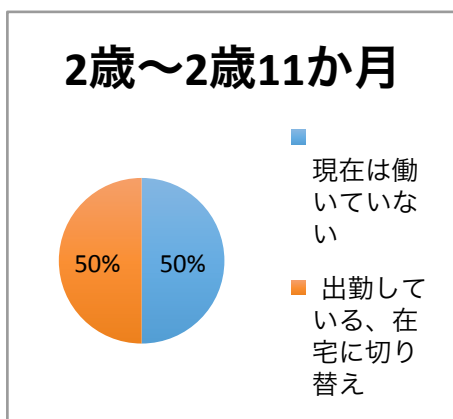
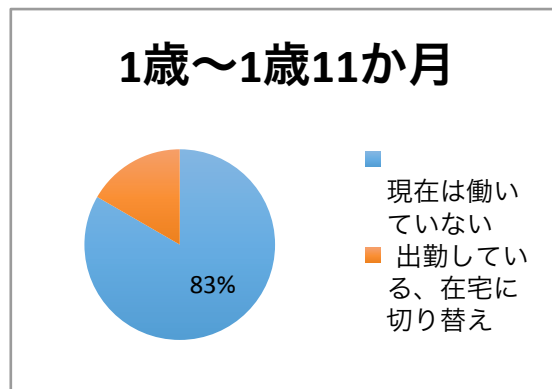
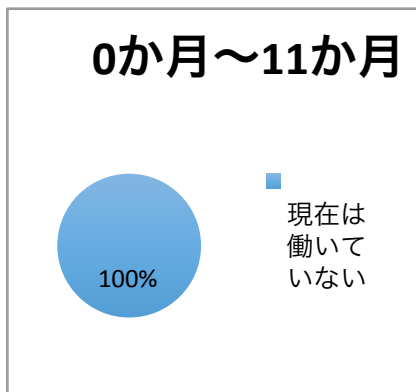
多胎児の他にもご兄弟がいるご家庭と、多胎児のみのご家庭とちょうど半数のご家庭に回答をいただきました。

3-1 現在お仕事をしていますか



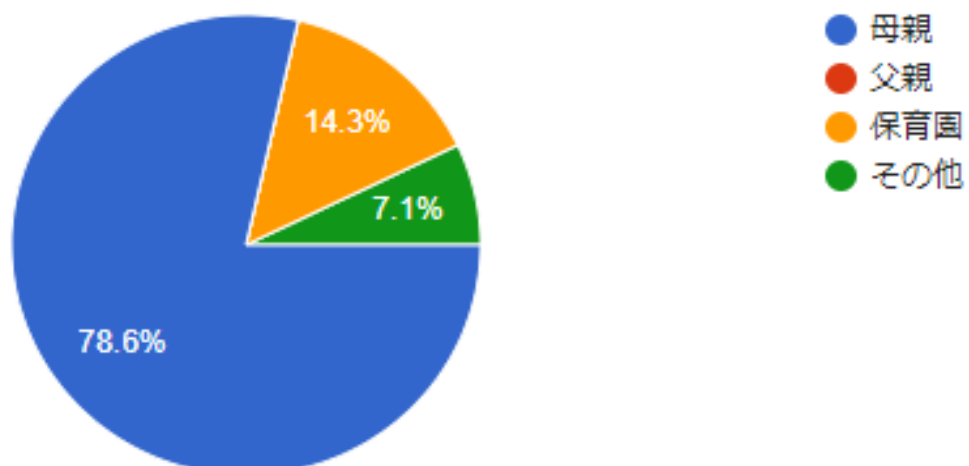
回答をしていただいたご家庭の約3割のご家庭が働いており、その中でも半数のご家庭が在宅ワークに切り替えていることがわかりました。

3-1 現在お仕事をしていますか（子どもの年齢別）



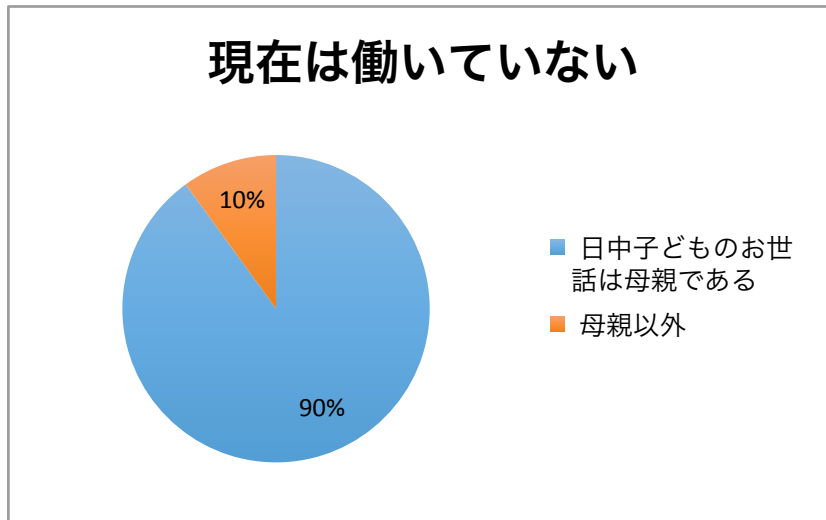
2歳以下のご家庭のほとんどが現在は働いていないご家庭ということがわかりました。

4-1 日中子どものお世話はどなたがしていますか



全体的に約8割のご家庭において母親が日中のお世話をしていることがわかりました。

4-2 日中子どものお世話はどなたがしていますか



働いていないご家庭の子どもたちのお世話は約9割が母親によるものでした。
母親の無償労働によって育児が支えられていることがわかります。

5-1 食品や日用品の買い出しはどなたが行きますか



約6割のご家庭において母親が日用品の買い出しを担っていることがわかりました。

6 買い出しやその他、外出に関わる困難はありますか

- ・3歳の子供がマスクを外してしまう
- ・双子が落ち着いているときしか買い出しに行くことができない
- ・なかなか簡単には出れない。天候が悪いと1日家にいることが多い
- ・双子を連れて病院に行けない
- ・2人用ベビーカーが通れない場所が多い、スーパーのレジなど
- ・こどもを連れて買い物辛い。今までは深夜に買い物に出ていたが、コロナウィルスの影響で閉店が早まった。土日の混雑する店舗に子連れで行くのも憚られる
- ・コロナの影響で仕事が休みの日は保育園登園自粛してと言われるが、多胎児+兄弟の世話を毎日ワンオペでやりきる自信がないです。三人をみながらの買い物なんて怖くて絶対できません！
- ・公園など行きたいが、子ども3人だと気軽に行けない
- ・そもそも外出は避けていますが、子供達全員を家に置いていく必要があるので、大人が少ない時は行けません。
- ・一人では子供を連れてはいけませんので、誰か手は必要。
- ・医者行くときに一人だけ連れて行けないときは二人連れて行かないと行けないから

14人中11人の方にご回答いただきました。回答を頂いたご家庭も、「外に出れない」、「でにくい」状況が明らかになっています。平時の時ですら外出しにくい多胎育児にとって、さらに厳しい状況がわかります。

7.まとめ（考察）

対象家庭36世帯中、回答をしていただいたご家庭が14世帯となり、低い回答率にも関わらず、母親への負担が大きいことがわかる。今回の回答では対象年齢が低いほど就業率が低く、その育児負担は母親に偏っている。このことから多胎育児において最も負担の大きい時期である乳幼児期の多胎児を育てる家庭において、この社会情勢下の負担は大きいといえる。さらに自由記述では、外出に関わる困難さが具体的に記されている。「公園」「病院」「スーパー」といった日常生活のルーティーンへの支障は単胎児家庭においてもさることながら、多胎児家庭においては同じ月齢の幼児を2人以上抱えるという点において外出先での十分な監視が普段以上にできない不安が垣間見えている。